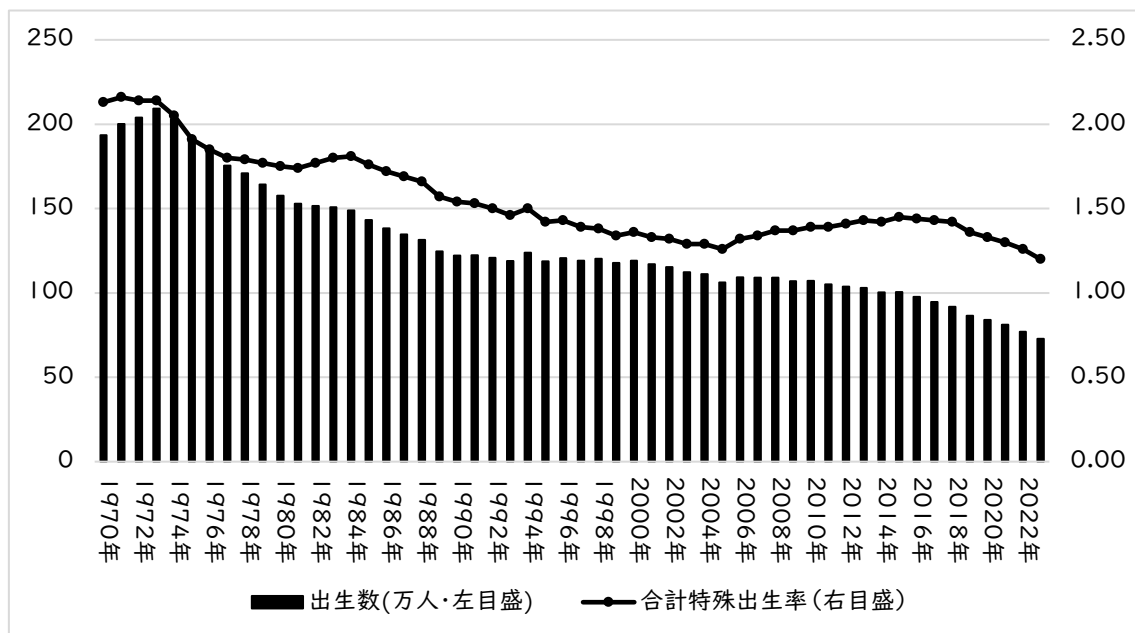


小論文

問題 1 図1は日本の出生数と合計特殊出生率の推移を示したものである。合計特殊出生率とは、「ある年における 15～49 歳までの女性の年齢別出生率を合計したもの」であり、その年の年齢別出生率が変化しないと仮定した場合に一人の女性が一生の間に産む子供の数に相当する。また、2023 年に出生した母親の年齢の中央値は 32 歳である（厚生労働省「人口動態調査」）。出生数、出生率、母親の出産年齢に着目し、日本の少子化の現状と将来予測を 500 字以内（字数には句読点を含む）で説明せよ。

問題2 図2は 2023 年における日本の年齢階層別男女別人口である。この図にみられる日本の人口構成の特徴と、少子化が今後の日本社会にもたらす課題について、500 字以内（字数には句読点を含む）で説明せよ。ただし、説明には「生産年齢人口」と「社会保障」の二つの用語を用い、それらの用語を丸で囲め。なお、「生産年齢人口」とは 15～64 歳の人口のことである。

図1 出生数と合計特殊出生率の推移

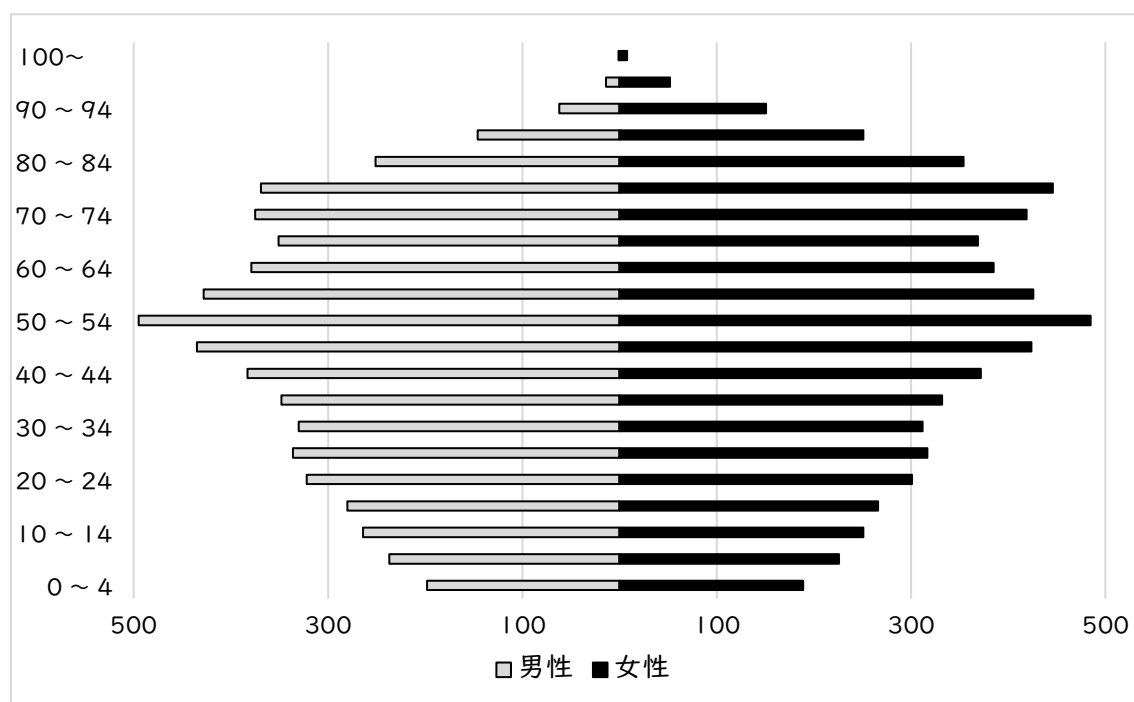


出典：厚生労働省「人口動態調査 人口動態統計 確定数 出生」2025 年

2026 年度 同志社大学大学院 総合政策科学研究科
博士課程（前期課程）入学試験（秋期実施）

小論文

図2 年齢階層別男女別人口（2025 年 4 月 1 日現在（概算値））



出典：総務省統計局「人口推計-2025 年（令和 7 年）4 月報-」2025年

注）縦軸は年齢階層、横軸は人口（単位は万人）を示す。